



目次

巻頭言	1
地区退職校長会だより	2
生き生きライフ	2・3
学校支援・社会貢献活動紹介コーナー	4

題字 野口峰子(元 あま・正則小)
25年度入会

タイトルデザイン 大津悟司(元 一宮・奥小)
28年度入会



この道は いつか 来た道 向かう道

副会長
伊 串 博

人類史上、深く刻まれていくことになるであろう新型コロナウイルス大流行と候補群。未だ世界的な大流行となっている状況の中で、「新しさ」が求められています。

その「新しさ」とは何でしょう。私は、既成概念の抜本的な見直し、視座を高めることを考えています。

学校教育は、長い間、叡智を基に、確かな組織体と堅実な運営の下に推進されてきました。焦土化した我が国の飛躍的な発展の最大の理由は、国民皆教育の推進に他なりません。長期にわたっての我が国の繁栄は、教育に携わる方々の渾身の努力の賜物なのです。かつて、四半世紀前に訪れたシンガポールでは、既に一人一台パソコンが配給され、それを駆使した授業が

展開されていきました。また、オーストラリアでは、電子黒板の多機能を活用した授業が実践されておりました。改めて、教育政策の先見性、教育文化の違いを痛感する機会でもありました。

新しい時代の新しい国づくりの礎は、「教育」にあり。その思いと先行経験を基に、現在、後進育成にあたらせていただいております。毎回の講座や指導のための教材研究、教材教具や資料の準備の楽しさは、至福の時間です。さらに、学生、院生、小中学校の現役青年教師を対象に、「教育」とは、「教師」とは、「授業」とは、「指導」とは、「学習」とはというテーマで、伝授、伝播、伝達しています。未来の教育を展望する基本は、伝えることは伝え、考えることは考えていくことです。教師は教志です。仕事は志事です。活躍フィールドは異なっても、その「学士」「修士」の「土」の「心」を、即ち、「志」を伝えていくことこそ、先を歩んでいる私たちの責務と考えています。

ノブレス・オブリージュの精神、離見の見、忠恕の心をもつて、人生の集大成としての滄瀛の輝きを胸に秘め、時を重ねていきたいものです。

心の豊かさ

副会長
坂 本 憲 昭



令和二年は、後世の歴史に記録として残る「コロナ元年」と言えるかもしれません。今や、公共の場でのマスク着用は常識となっています。

私の勤務する放課後学級・トワイライトスクールでは、「マスクの常時着用・こまめな手洗い・密集しない活動・器物やトイレの消毒・室内の換気の徹底・食を伴う講座の自粛など」が続いています。

感染の拡大を防ぐために、「授業後、家庭内に祖父母を含めた保護者がいる場合は、トワイライトの利用を控える」をお願いしています。

このように、いろいろな面で、生活の様式がガラリと変わり、子どもたちには不自由な思いをさせています。

しかし、そんな中であって、世界に目を向けると、空気

汚染に悩む中国やインドの環境改善や、マレー半島でオサガメの巣穴が多く見つかったり、ジュゴンの大群がタイ南部の海で確認されたりと朗報も聞こえてきます。

「十一年版 ベスト・エッセイ集」に、こんな話があります。あなたがこの母親なら…、さて、何と言うでしょう。

「小学校四年生の息子の長靴に穴があった。母親は夜なべの針仕事で、ようやく新しい靴を買った。ところが…。学校の下駄箱からその靴が消えた。いくら捜してもない。その夜、息子から『とられてしまった』と打ち明けられた。

母親は、針仕事の手を休めずにこう話した。

『もつとかわいそうな子がいんだよ』

つましい暮らしであつても、よりつらい家庭のことを忘れない。母親の一言を心にとどめ、息子は穴のあいた長靴を修理して履き続けた…ということです。

今、コロナ禍にあつて、誰もが傷ついています。そんな中にあつても、あの母・子のように、より厳しい立場の人に思いを寄せる…。

私たちは、こんな「心の豊かさ」を持ち続けたいですね。

地区退職校長会だより

県内の地区退職校長会から、たよりをいただきました。互いの理解と親睦を深めるため、順次紹介していきます。

碧南市小中学校 校長会OB会

碧南市小中学校校長会OB会は、平成二十一年度に設立され、会員は元碧南市小中学校校長会会員とし、本年度の会員は六十名です。

会員相互の親睦を図ることを目的とし、毎年三月末の平日に総会と懇親会を行ってきました。

退職年度の校長会長が司会を務め、会長挨拶に始まり、物故者に黙祷を捧げ、故人の冥福を祈ります。議事、新入会員の挨拶を経て懇親会に移ります。年によつては参加者全員が近況報告を行ったことや教育長から碧南の教育の現状を伝えてもらったこともありましたが、

退職年度の校長には、開催期日が三月末日の平日では慌ただしく、令和元年度から開催日が配慮されています。

前年度は、一月中旬に開催案内を発送しましたが、新型コロナウイルスの流行により、急遽、会を中止せざるを得なくなりました。参加予定の方々には、改め



碧南市観光協会
マスコットキャラクター
「しょうぶ」

て中止の旨をお知らせしました。同時に、次回は令和三年三月二十六日(金)に開催予定であることをお伝えしました。

十二月になつてもコロナの流行は収まらず、本年度の開催をやむを得ず見送ることを会員の皆様にお伝えしました。

柴田規矩司先生が、全国退職校長会総会での挨拶を引用した記事を、以前会報に載せられました。

これから大切なことは、「きょういく」と「きょうよう」です。「今日、行くところがある」「今日、用事がある」ということ。これが元氣のもとのことだが、面白くて楽しいことであれば、なおさら元氣が出ると思うという内容でした。

人と関わることが大切だからこそ、早くコロナが収束して、会員の方々の元気な姿に接し、和やかで楽しいひとときを過ごしたいものです。

(23年度人会 高須 哲夫)

生き生きライフ

何もかもが新しい職場で

27年度人会 福島 茂樹
(元 名古屋・千石小)

私は、昨年の四月から退職後三つ目となる放課後デイサービスという新しい職場で仕事をさせてもらっている。

今までの職場は、何らか現役時代と関連した仕事をさせてもらっていたが、今の仕事は、社会福祉法人ではあるが自分としては初めての民間で、公務員という仕事が多々

な面で恵まれていたことを痛感した。また、児童福祉という仕事も初めてで、何もかもが新しく、最初はかなり戸惑った。

四月五月はコロナ禍で、放課後デイサービスは大盛況、朝から夕方まで子どもたちの声が響く毎日を送っていた

が、そんな仕事の中で、初めて校



子どもたちといっしょに

長として赴任した学校の特別支援学級にいた女の子に再会した。同じ系列の高齢者福祉施設で仕事をしているらしいが、名前を聞いて、もしかしてと思い、出身小学校を聞き、その時の新入生であることを確認できた。もちろん彼女は、校長の顔など覚えてはいなかったが、その時同じクラスの子のことなど話し、楽しい時間を過ごすことができた。

生涯心は青春

28年度人会 竹本 正子
(元 豊田・堤小)

私は、詩人、茨木のり子さんの「自分の感受性くらい」という詩が大好きである。

自分の感受性くらい

ばさばさに乾いてゆく心を
ひとのせいにはするな
みずから水やりを怠っておい

(中略)

自分の感受性くらい
自分で守れ
ばかりのよ

茨木のり子

詩集「自分の感受性くらい」(一九七七年刊) 所収

この詩を読むたびに「は

い」と思わず言ってしまう。そこで、定年を機に健康づくりと年をとっても楽しめる自分に合った趣味を探すという目標を立てた。

まず始めに、ガーデニングの基礎学び。大好きな四季の花や木の育て方を知り、我家の庭づくりに精を出すうちに、朝起きて庭を見回るのが、毎日の楽しみの一つになった。花の美しさや土の手触りに心が明るくなる。



我家のミニガーデン

次は、整髪美容師範の資格を二年がかりで取得。血流を促す整膚の技術は、友達や義母の健康づくりに一役かっているという自己満足。

今は、大人の

のビーズ作りに挑戦中。

「生涯心は青春」目ざしてがんばろう。



はじめてのビーズ作品

趣味と病

29年度人会 山田純一郎
(元 知多・八幡小)

突然ですが、三月に肺癌の手術をしました。その後、四

か月にわたって、月一回のペースで抗癌剤治療をしました。煙草を吸わない私にとって、肺癌という病気は想定外でしたし、その後、抗癌剤治療をしないといけないということも驚きでした。抗癌剤治療は四日間入院治療ですが、胸焼けがして食欲がなくなり、この期間に体重が十キロ落ちました。十キロも落ちるとさすがに体力が落ち、普段の生活に戻るのに時間がかかりました。

今回の病気で、趣味の一つである花の栽培が十分にできなくなっていました。私の父が好きで、温室でランを育てていましたが、四年前に死去しましたので、引き継いで育てています。本来なら、今年植え替えなければいけないランも植え替えることができません、また、肥料も十分与えることができなかったもので、例年の様に咲かせることができませんでした。もちろんプロの様に咲かせることはできませんが、一花でも咲けばうれしいものです。来年はもっとたくさん咲かせることができるとがで



昨年度咲いたカトレア

うに、楽しく世話をしたいと思います。やはり健康第一です。

「ゆめちゃん」とのお散歩

30年度入会 近藤 真司
(元 あま・七宝中)

定年退職後、時間的なゆとりは現職の時と比べものにならないくらいに増えました。そこで、家のために何かできることはないかと考え、犬の散歩をすることにしました。

我が家の犬の名は「ゆめ」。

十三歳の女の子です。六時と十八時に散歩に行きます。



お散歩中のゆめ

毎朝

私が「おはようございます」と挨拶しても、知らぬ顔をして通り過ぎる七十歳くらいの男性。散歩を始めて一か月程たったある日、ゆめがその男性に「クーンクーン」と甘えた声ですり寄っていました。それ以来、その男性はゆめに「おはよう、ゆめちゃん。行つてらっしゃい」と優しく声をかけてくださるようになりました。今ではその男

性から私に「おはようございます。寒くなりましたね」と挨拶してくださるようになりました。

近所の萱津神社へ毎朝参拝に行かれる元気なおばあちゃん、早朝出勤の女性など、人なつこいゆめのおかげで多くの方と出会い、声を交わせるようになり、気持ちの良い一日のスタートを切れるようになりました。

ゆめちゃん、ありがとう。

本と人との囲まれて

元年度入会 菅沼 行生
(元 名古屋・中川小)

退職後、古本喫茶「真本堂」を七月十七日に開店させました。一般書や教育書、絵本などを約八千冊用意しました。喫茶も含め初めてのことがばかりで、古物商許可証や喫茶の営業許可証の取得などで開店までに三か月以上かかりました。

開店当初は多くの方がお祝いに駆け付けてくださいました。しかし、夏休みが終わると、平日の来客がゼロの日もありました。

そこで、読書会や絵本の読み聞かせ、句会などのイベントを開催しました。友人やお客様の紹介で講座も増えました。しかし、軌道に乗りか

けたところにもコロナの影響を受けました。休業やイベントの中止、人数制限など再び厳しい状況に置かれました。



真本堂店内

苦肉の策として、ネット販売を始め窮状を乗り切っています。今は人数制限をしてイベントも定着してきました。

毎朝、トイレや床掃除などに取り組んでいます。嬉しいのは、本を通して人との出会いが広がったことです。本好きの人の集まりは話がとても楽しいです。これからも本を縁に人が集う文化の場としての役割を果たしたいと思っています。ご興味のある方ぜひお寄りください。

園長は天国

2年度入会 澤田二三夫
(元 豊田・市木小)

人生初の就活中に「幼稚園バスの運転手で雇ってもらえませんか？」と最終勤務校の向いにある名古屋柳城短期大学附属豊田幼稚園の園長先生に聞いたところ、あっさり断

られました。翌週「園長になつていただけませんか？」と誘われ、思わず「私で良ければ」と答えてしまったのが新しい人生の始まりです。

四月からフルタイムで幼稚園の園長をしています。最近では、念願かなって幼稚園バスに園児を乗せてドライブしています。保育コースのある高校



炭治郎園長、天使たちに囲まれて

現在進行中です。また、保育者養成校の附属でもあるので、短大や大学で講義をさせていただくこともあります。これもまた楽しいものです。幼小中高大の連携の橋渡し役として「元校長」というのはとても役になっています。もともとじつとしてられない性分なので、夜は地域スポーツクラブで「大人のテニス部」の顧問をしています。二十代から七十代の部員相手に週一回テニスをしています。大人を相手に、部活動のように鬼顧問をしております。

学校支援・社会貢献活動紹介コーナー

昨年七月に実施いたしました「学校支援・社会貢献に関するアンケート」の結果等を報告いたします。

文部科学省は学校の新型コロナウイルス感染症対策と学習保障の両立を図るため、学校の教育活動のサポートを退職教員に呼びかけています。そこで、会員の学校・家庭・地域のボランティア活動の実態を調査し、退職校長による学校支援や社会貢献について考察することとしました。

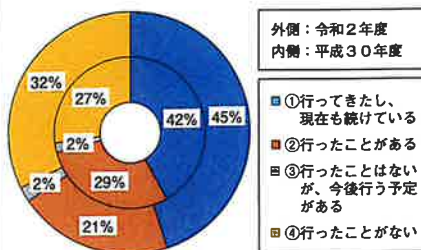
平成30年度の一回目を引き続いて二回目になる今回の調査は、26年度に入会された皆様を対象に実施し、次のような回答をいただきました。

【調査項目1】

「これまでに子ども・学校・地域等へのボランティア活動を行ったことがありますか」

《結果》

【調査項目1】 ボランティア活動の有無



《考察》

○「行ってきたし、現在も続けている」「行ったことがある」は合わせて66%で、3分の2近くの会員が退職後に「学校支援・地域貢献」に取り組んでいます。

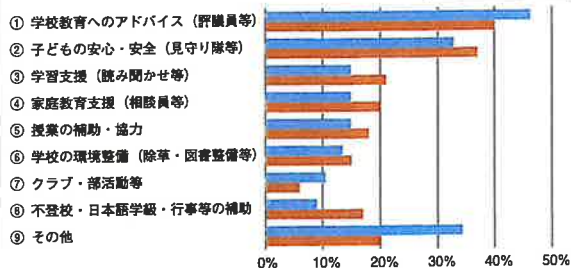
○「行っていない」は、平成30年度調査と比較すると5ポイント高くなっています。「行っていない」理由は、「仕事で時間がない」「親の介護をしている」等です。

【調査項目2】

「これまでに携わった活動についてお答えください」(複数回答可)

《結果》

【調査項目2】 携わったボランティア活動



《考察》

○ボランティア活動に取り組む46%は「学校教育へのアドバイス」、33%は「子どもの安全・安心」に携わる等、他の取組も含め校長・教員としての30数年の知見が生かされています。

○「その他」の割合が平成30年度調査と比較すると14ポイント高くなっています。地域貢献の取組が多彩になっているためです。それにともなつて、食育や河川・空気の定点観測、笑いヨガ訪問等、その詳細を会員で共有するとよい取組が増えてきています。

【調査項目3】

「新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休校が解除されましたが、子どもたちの不安は大きいものがあります。そこで、子どもたちや学校支援のために、①新たに取組が始めたことはありますか。②機会があればやってみようことはありますか」(複数回答可)

《結果》

- ①新たな取組
- ・部活動指導
 - ・理科支援員
 - ・見守り隊の人員増
 - ・地域学校協働本部が中心となる「子ども居場所」事業
 - ・トワイライト専門員として学校の担任との密な情報交換
 - ・スポーツ教室 等
- ②やってみようこと
- ・部・クラブ活動の指導・補助
 - ・授業の補助

- ・特別支援教育の補助
- ・日本語学級の補助
- ・心の相談支援
- ・不登校の補助
- ・子どもの安全・安心関連
- ・環境整備
- ・教員の事務作業等の補助
- ・貧困対策としての学習支援
- ・家庭教育の支援 等

《考察》

○学校の要望等の機会があれば、ボランティア活動に取り組みたいという声が少なくありません。

○学校や子どもたちに役に立つ取組のためには、学校からの情報発信も必要であると考えます。

学校は新型コロナウイルス感染症対策を念頭に置いた教育活動の充実が急務となり、学校支援・地域貢献の必要性・重要性はこれから一層高まると思われます。

一方、本調査により、退職校長による学校支援・地域貢献のボランティア活動について、次のような課題が明らかになりました。

★仕事や介護との両立
★学校が要望する活動の情報収集

★地域貢献活動の情報発信
本会としても、今後はこれらの課題を踏まえた会報の発行や現職校長会との情報交換等の取組により、退職校長の学校支援・地域貢献の喚起・啓発に努めていきたいと思います。

会議等の中止について

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、次の会議や大会等が中止になりました。

〈県退職校長会〉

8月11日 正副会長・常任委員長・常任委員理事会

8月11日 役員研修会

9月10日 常任理事会

〈全国連合退職校長会〉

10月2日 理事会(副会長会の代替)

11月5日 東海北陸地区協議会福井大会

会

事務局だより

ご多用の中を、原稿の執筆にご協力いただきました多くの皆様に心より感謝申し上げます。皆様のご協力により、予定どおり会報を発行することができました。

これからも、会員の皆様に喜んでいただける会報になるよう、努めてまいります。今後とも、皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

愛知県退職校長会事務局

名古屋市中区新栄一丁目

愛知県教育会館六階 四九番一〇号

愛知県小中学校長会事務局内

TEL 〇五二二二六一一八〇七

FAX 〇五二二二六一一八〇七

E-mail: ai-kocho@axel.ocn.ne.jp